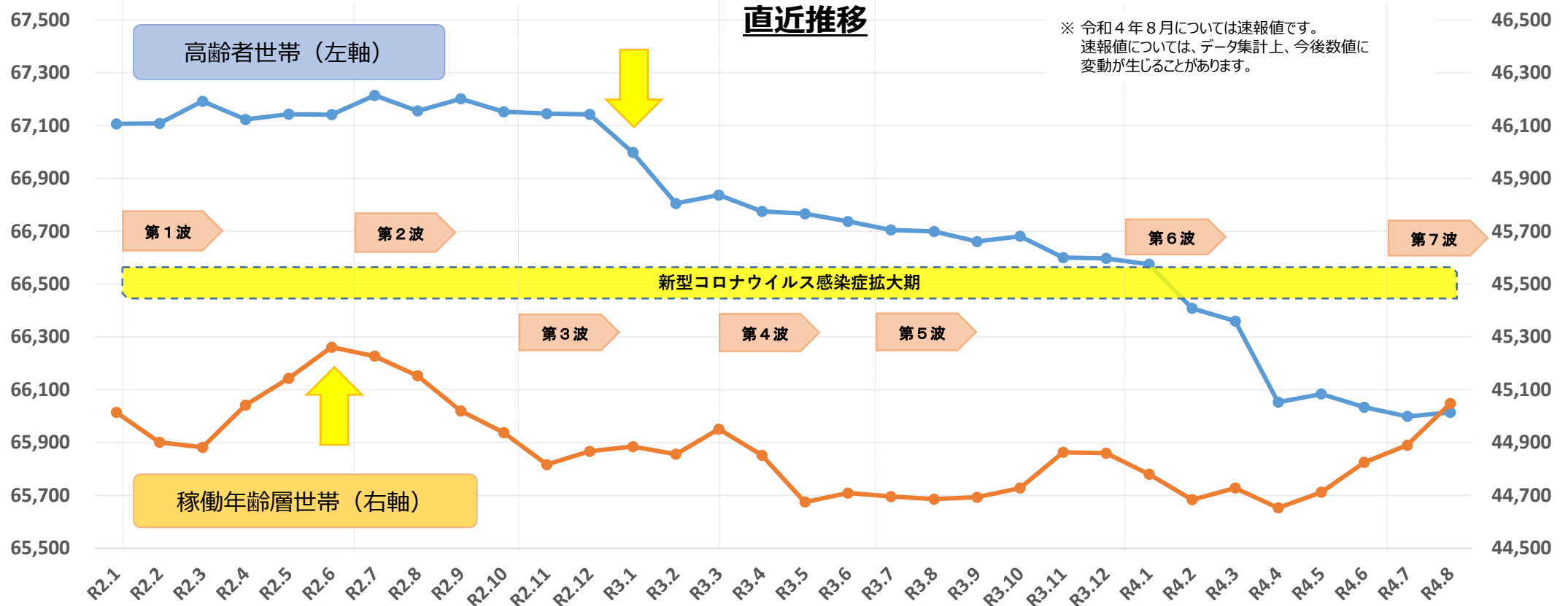


議題 1 生活保護の動向について

生活保護の動向

○大阪市の世帯類型別の保護動向（月別）

- 高齢者世帯数は、リーマンショック以降、横ばいで推移していたが、令和3年1月以降は減少傾向にある。
- 稼働年齢層世帯数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年4月から一時的に増加したが、同年6月をピークに減少に転じた。その後、一時的に増加している月は見受けられるものの、概ね横ばいとなっていたが、令和4年5月以降は増加に転じている。
- 高齢者世帯数と稼働年齢層世帯数の合計でも、令和4年5月以降はやや増加傾向となっている。



	R2.6	R2.9	R2.12	R3.3	R3.6	R3.9	R3.12	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8
高齢者	67,141	67,201	67,142	66,837	66,737	66,661	66,597	66,360	66,053	66,084	66,034	65,999	66,014
稼働年齢層	45,261	45,020	44,867	44,951	44,709	44,693	44,860	44,728	44,653	44,712	44,825	44,890	45,048
計	112,402	112,221	112,009	111,788	111,446	111,354	111,457	111,088	110,706	110,796	110,859	110,889	111,062